

## 第1回 本庄高校 学校運営協議会

期日：令和元年5月30日

時間：13:30～15:00 進行(教頭)

場所：本庄高校 第Ⅱ視聴覚室

### 【出欠】

委員：中山（○） 桑畑（○） 餘利野（欠） 岩切（○） 服部（○）

大南（○） 三根（欠） 谷口（○） 那須（○）

学校：校長（○） 教頭（○） 事務長（○） 原田（○） 内田（○）

### 1 開会のことば（教頭）

### 2 委嘱状交付（校長）

※机上配付による交付

### 3 校長あいさつ

学校運営協議会委員のお引き受けいただき大変ありがたい。高等学校におけるCSの取り組みは今年度が初めてということで手探りの状態であるが、皆様のご協力をいただきながら進めていきたい。今後ともどうぞよろしくお願ひしたい。

### 4 自己紹介

### 5 学校からの説明

校長：（別冊資料参考）

#### (1) コミュニティ・スクール（CS）の趣旨説明について

資料2 ページ

高等学校のCSの取り組みは、今年度595校の予定。全国約4,800校（公立高校で約3,500校）であるので決して多くはない。

本県で実施するのは、北から高千穂、門川、本庄、福島、飯野の5校である。変化の激しい時代にあつて、主体性・多様性・協働性など社会の動きを踏まえた中で地域の方々の力をお借りして教育に生かしていくことになる。

県からは、154万3千円の予算が付いている。

本校の主な研究テーマは、p5に記載の通りである。本校が実施していくデュアルシステムとは、学校で学ぶと同時に企業等でも学びを定期的に深めていくことになる。

サポートスタッフは非常勤職員がつくことになっている。

学校評価については、学校は自己評価し、公表しなければならないと法律で決まっている。

#### (2) 学校基本方針

まず、学校紹介資料（プレゼン資料）を見ていただきたい。

近年、部活動を強化してきている。先日高校総体が開催され、フェンシング部と馬術部が団体優勝をしている。

この他、文化部も盛んで、特にユネスコ部は各種のボランティア活動に主体的に取り組み地域からも高い評価を受けている。

資料のp6の学校運営基本方針より説明

昨年度の大きく変わった部分としては、学校運営協議会制度の指定を受けた部分である。

p7（学校改革コンセプト図）について

この資料については、令和2年度入学生対象の資料となるため、6月まで取扱注意でお願いしたい。

現在留学生を2名受け入れているが、今年7月で留学期間が終わり台湾とオランダに帰ることになっている。今後とも引き続き留学生の受け入れをしていきたいが、課題として留学生の受入先（ホームステイ先）がなかなか見つからない。このような点で、お力添えをいただければありがたい。

(3) 本庄高校魅力化推進協議会について

本会は宮崎市・国富町・綾町の1市2町で本校の魅力化を推進するために、平成28年1月に本庄高校魅力化推進協議会が設立された。委員は21名で構成されているものであり、このような背景があることをご承知おきいただきたい。

## 6 協議内容

(1) 本庄高校運営協議会規約について・・・別冊p11～12

・会長（中山 国富副町長）・副会長（餘利野 PTA会長）

校長：3つの部会を設置しているが、全員がすべての部会員であるという思いで関わっていただきたい。

(2) 事業計画および予算書について・・・別冊p13～15

教頭：県より150万円の研究補助費をもらっている。内訳を県へ提出する予定。各教科等に依頼したら、総額340万円の要望額となった。精選した結果は別紙資料の通りである。綾町より、ユネスコ関係のバスを補助していただいた。主に外部講師謝金等がメインとなっている。この予算で県へ提出してよろしいか。

全員：異議なし。

(3) 学校評価について・・・別冊p16～19

教頭：ホームページにも公開している。3つの重点項目について、数値目標を立てて実践をしていく。協議委員より4段階評価をお願いしたい。

協議委員：評価が難しい。詳しい資料はいただけるのか。

教頭：評価しやすい形の情報提供を検討していきたい。

(4) 各委員より・・・本庄高校がよりよい学校に成長するための協議内容提案

那須：学校評価の項目が多いので整理してほしい。

谷口：関係者評価について、委員で評価が分かれると思うが、最終評価はどのようにするのか。数値を平均化するのか。全体で集まるのか。

教頭：今後、評価の方法について検討したい。

大南：評価については、色々な資料を提供してほしい。本庄生徒は町民一体となって地域活性に取り組んでもらっている。みやPECもブルーベリーの支援を行っていきたくて言われていた。

服部：学校が変わるということが分かった。評価について、すべてを数値化できるわけではない。学校外活動を積極的に行っていただきたい。

岩切：生徒の満足度が1年と3年で変わっている。中学生向けのスライドに顧問の先生の実績等も追加すると良い。

桑畑：未来会議等、色々な取組をしている。インターンシップ等の行事について、目的意識をもって取り組ませ、事前・事後の研修をしっかりと行ってほしい。「とびたてJAPAN」という国際交流プログラムがある。留学だけでなく県内の職業体験もある。今後、情報提供していきたい。

中山：キャリア教育について、町内の企業が掲載している冊子を作成している。自慢できる企業が町内もいくつかある。参考にしていきたい。

7 本年度の協議会活動日程について・・・本校の年間行事予定表 p 20～23 参照

(1) 年間3回実施予定

教頭：次回以降の会議について、後日案内させていただきしたい。午前、午後どちらがよいか。午後で案内したい。

8 諸連絡

(1) CSサポートスタッフについて

校長：人選できていない。次回の会議で紹介したい。

教頭：現在も募集しているが希望者がいない。相応しい人がいれば紹介してほしい。

(2) 調査用紙について

教頭：必要事項を記載して提出。

9 閉会のことば